

MODULATION MD-500

取扱説明書

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

- 入力から出力までを、サンプリング周波数 96kHz、32 ビットの高精度演算による信号処理。圧倒的な高音質モジュレーション・エフェクトが得られます。
- 見やすい画面表示や、独立した [TAP/CTL] スイッチの装備など、高性能でありながらライブでの使いやすさも兼ね備えています。
- コーラス、フランジャー、フェイザーなど、定番のエフェクトをボスの最新技術でブラッシュアップ。BOSS CE-1 やスキャナー・ビブラートなどのモデリングを含む 12 種類のモジュレーション・エフェクトを搭載しています。
- メモリー機能により、297 種類の設定を本体に記憶／呼び出しすることができます。
- 2 つのエフェクトを同時に使える「サイマル・モード」、外部エフェクターと組み合わせた音作りが可能な「インサート・ループ機能」を搭載しています。
- USB ケーブルや MIDI ケーブルを接続することで、パソコンの DAW や外部 MIDI 機器と同期したり、音色の切り替えやパラメーターのコントロールをしたりすることができます。

準備する	2
電池を入れる	2
機器を接続する	2
基本操作	4
エフェクトを調節する	4
エフェクトをオン/オフする	5
バンク/パッチを切り替える	6
[TAP/CTL] スイッチでエフェクトのかけかたを変える	7
パッチをエディットする	8
パッチを保存する	9
パラメーター一覧	10
PATCH	10
モード共通のパラメーター	10
モードごとのパラメーター	10
CONTROL	18
ASSIGN	18
BANK	20
SYSTEM	20
MIDI	20
MIDI PC MAP	21

便利な使いかた	22
[A]、[B]、[TAP/CTL] スイッチの機能を設定する	22
2 つのパッチを同時に使う (サイマル・モード)	22
外部エフェクターをインサートする	24
インサート・ループ機能を設定する	24
外部ペダルに機能を割り当てる	25
DAW や外部 MIDI 機器と同期する	26
接続例	26
送受信できる MIDI メッセージ	26
MIDI の流れ	27
工場出荷時の設定に戻す	28
外部 MIDI 機器にデータを送信する	28
トラブルシューティング	29
主な仕様	29
安全上のご注意	30
使用上のご注意	30

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書 (P.30)）をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

準備する

電池を入れる

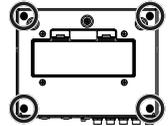
本体裏面にある電池ケースにアルカリ電池（単3形）4本を入れてください。

- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- ※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」チラシと取扱説明書（P.30）に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- ※ ACアダプターを使用する場合でも、電池を入れておけば、万一本機からACアダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。
- ※ 電池駆動のときは、電池が消耗してくると画面に「BATTERY LOW」と表示されます。新しい電池と交換してください。

ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。

ゴム足は図の位置に貼り付けます。



機器を接続する

- ※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

USB (←) 端子

USB 2.0に対応した市販のUSBケーブルでパソコンに接続します。MIDIでDAWと同期することができます。



MIDI IN、OUT 端子

外部MIDI機器を接続します。MIDIで外部MIDI機器と同期することができます。



DC IN 端子

ACアダプター（PSA-100S：別売）を接続する端子です。ACアダプターを使用すれば、電池切れの心配をせずに長時間の演奏ができます。

※ ACアダプターは、必ず指定のもの（PSA-100S：別売）を、AC100Vの電源で使用してください。

※ 電池が入っている状態でACアダプターを接続すると、電源はACアダプター側から供給されます。



INPUT A/MONO、B 端子

エレクトリック・ギターをはじめ、他の楽器やエフェクターを接続する端子です。

※ ステレオ出力の機器を接続するときは INPUT A/MONO 端子と B 端子に、モノで使用するときには INPUT A/MONO 端子のみに差ししてください。

電源を入れる／切る

INPUT A/MONO 端子は、電源スイッチも兼ねています。接続プラグを INPUT A/MONO 端子に差し込むと電源がオンになり、抜くとオフになります。

電源を入れるとき：

ギター・アンプなどの電源を最後に入れてください。

電源を切るとき：

ギター・アンプなどの電源を最初に切ってください。

メモ

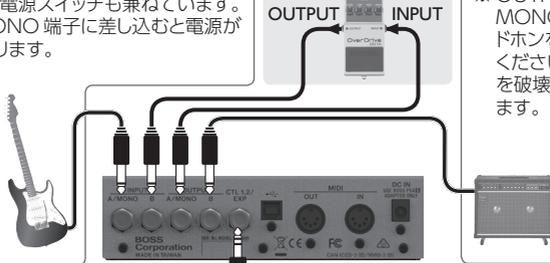
外部エフェクターを接続して、MD-500のエフェクトと組み合わせて使うことができます (P.24)。

OUTPUT A/MONO、B 端子

アンプやモニター・スピーカーに接続する端子です。

モノで使用するときには OUTPUT A/MONO 端子のみに差ししてください。

※ OUTPUT A/MONO、B 端子にヘッドホンを接続しないでください。ヘッドホンを破壊する恐れがあります。



CTL 1, 2/EXP 端子

CTL 1, 2/EXP 端子にフットスイッチ (別売:FS-5U、FS-5L、FS-6、FS-7) やエクスペッション・ペダル (別売:EV-30、Roland EV-5 など) を接続すると、さまざまなパラメーターをコントロールすることができます (P.25)。

FS-5U (または FS-5L) を 1 台接続する場合

標準プラグ ↔ 標準プラグ



CTL 1

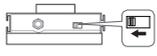
FS-5U (または FS-5L) を 2 台接続する場合

ステレオ標準プラグ ↔ 標準プラグ×2



CTL 2 CTL 1

ポラリティー・スイッチ



FS-6 を接続する場合

ステレオ標準プラグ ↔ ステレオ標準プラグ



CTL 2 CTL 1

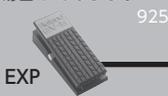
FS-7 を接続する場合

ステレオ標準プラグ ↔ ステレオ標準プラグ



エクスペッション・ペダルを接続する場合

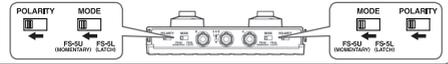
※ エクスペッション・ペダルは、必ず指定のもの (別売:EV-30、Roland EV-5) をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。



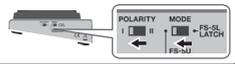
925

EXP

モード／ポラリティー・スイッチ



モード／ポラリティー・スイッチ



基本操作

エフェクトを調節する

[MODE] つまみ

エフェクトの種類を選びます。

CHORUS	ボスの最新技術によるコーラス効果から、ピンテージ機器をシミュレートしたコーラスです。
FLANGER	フランジング効果を作り出します。TURBO SW を「ON」にすると、より強烈なサウンドが得られます。
PHASER	フェイズ効果を作り出します。ピンテージ・フェイザーの軽やかなサウンドも得られます。
CLASSIC-VIBE	Uni-vibe をモデリングしています。
VIBRATO	ユニークな効果を持つビブラトです。トーンホイール・オルガンのスキャナー・ビブラトもシミュレートしています。
TREMOLO	音量を周期的に変えるエフェクトです。ピンテージ・ギター・アンプのトレモロもシミュレートしています。

DIMENSION	Roland DIMENSION D (SDD-320) をモデリングしています。
RING MOD	音程感のない金属的な響きのサウンドが得られます。
ROTARY	リアルなロータリー・スピーカーのサウンドを再現します。
FILTER	入力に合わせてフィルターを変化させたり、フィルターの変化周期をプログラムしたりできます。
SLICER	サウンドを連続的にカットして、多彩なスライス・パターンを作り出します。
OVERTONE	新たな倍音を加えて原音にない響きと厚みを作り出します。

[RATE/VALUE] つまみ

エフェクト音を揺らす速さを調節します。

押しながら回すと、値を大きく変化させることができます。

[PARAM 1] つまみ

各モードに割り当てられたパラメーターを調節します。

[DEPTH] つまみ

エフェクト音を揺らす深さを調節します。

[E. LEVEL] つまみ

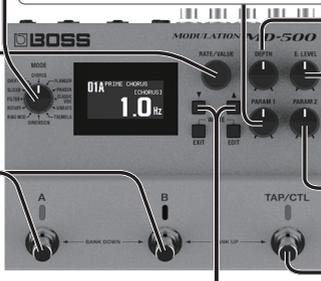
エフェクト音の音量を調節します。

[A] [B] スイッチ

バンク/パッチを切り替えます (P.6)。

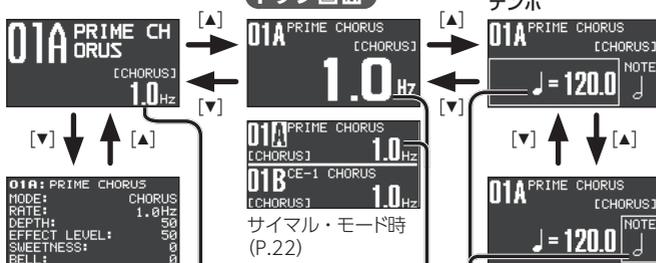
[PARAM 2] つまみ

各モードに割り当てられたパラメーターを調節します。



[▼] [▲] ボタン

画面が切り替わります。



[RATE/VALUE] つまみを回すと、値を変更できます。

ノート
テンポに対する音符の長さ

[TAP/CTL] スイッチ

スイッチを押して、エフェクトのかけかたを変えることができます (P.7)。また、演奏曲のテンポに合わせてスイッチを押すと (タップ入力)、演奏曲とタイミングの合った揺れの速さを簡単に設定することができます。

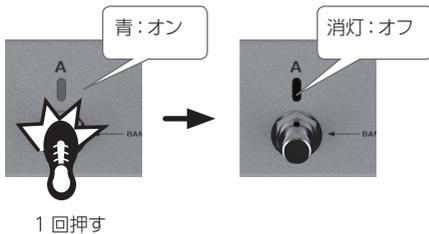
エフェクトをオン／オフする

パッチ A のエフェクト

[A] スイッチを押すたびに、オン（青点灯）／オフ（消灯）が切り替わります。

パッチ B のエフェクト

[B] スイッチを押すたびに、オン（青点灯）／オフ（消灯）が切り替わります。

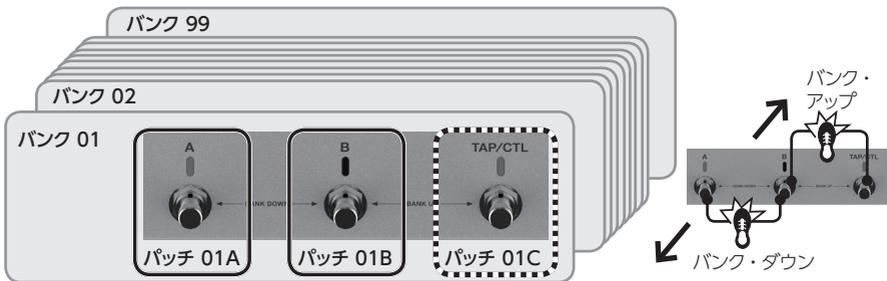


メモ

パッチ A、B を同時に使えるように設定することもできます (P.22)。

パッチ／バンクとは

MODE、DEPTH、EFFECT LEVEL などの設定をひとまとめたものを「パッチ」と呼びます。パッチは [A]、[B]、[TAP/CTL] スイッチで選ぶことができます (P.22)。パッチ A、B、C をまとめて「バンク」と呼びます。

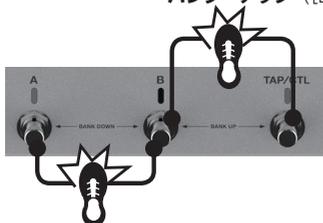


※ パッチ C を [TAP/CTL] スイッチで切り替える場合は、「[A]、[B]、[TAP/CTL] スイッチの機能を設定する」(P.22) をご覧ください。

バンク／パッチを切り替える

1. バンク (01 ~ 99) を切り替えます。

バンク・アップ ([B] と [TAP/CTL] スイッチを同時に押す)



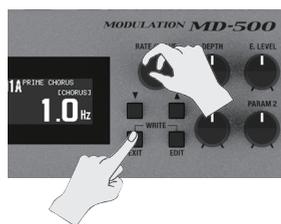
バンク・ダウン ([A] と [B] スイッチを同時に押す)

2. 点滅しているスイッチ ([A] または [B]) を押して、パッチを切り替えます。



メモ

[EXIT] ボタンを押しながら [RATE/VALUE] つまみを回すと、別のパッチを呼び出すことができます。



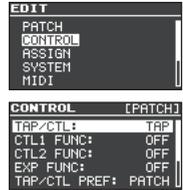
メモ

[A] スイッチでエフェクトのオン／オフを切り替えるなど、[A]、[B]、[TAP/CTL] スイッチの機能を変更することができます (P.22)。

[TAP/CTL] スイッチでエフェクトのかけかたを変える

初期設定では [TAP/CTL] スイッチでタップ入力ができますが、設定を変えるとエフェクトのかけかたを変えることができます。

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「CONTROL」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、[RATE/VALUE] つまみで値を変えます。



パラメーター	設定値	説明
TAP/CTL	[TAP/CTL]	スイッチの機能を設定します。
TAP/CTL	PATCH	パッチごとに異なった設定にできます。
PREF	SYSTEM	すべてのパッチで同じ設定を共有できます。

TAP/CTL の設定値

設定値	説明
OFF	割り当てをしません。
TAP	タップ入力ができます。
RESET	ペダルを踏むと、LFO の位相を INIT PHASE (P.10) の値に戻します。
MOMENT	押している間だけ、エフェクト音を出力します。
BANK UP	バンクを変えます。
BANK DOWN	

4. [EXIT] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

パッチをエディットする

パッチに関するさまざまなパラメーターをエディットすることができます。

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで [PATCH] を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、[RATE/VALUE] つまみで値を変えます。
4. [EXIT] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

※ エディットしたパッチは、「パッチを保存する」(P.9) の手順で保存してください。

EDIT	
PATCH	
CONTROL	
ASSIGN	
SYSTEM	
MIDI	

PATCH		[CHORUS]
MODE:	CHORUS	
TYPE:	PRIME	
RATE:	1.0Hz	
BPM:	♩=120.0	
NOTE:		♩

[EDIT] の基本操作

01A PRIME CHORUS
[CHORUS]
1.0 Hz

↓ [EDIT] ボタン

EDIT	
PATCH	
CONTROL	
ASSIGN	
SYSTEM	
MIDI	

→ [EDIT] ボタン

← [EXIT] ボタン

[▲] [▼] ボタンで
カーソル移動

[▲] [▼] ボタンでカーソル移動
[RATE/VALUE] つまみで値を変更

PATCH		[CHORUS]
MODE:	CHORUS	
TYPE:	PRIME	
RATE:	1.0Hz	
BPM:	♩=120.0	
NOTE:		♩

ASSIGN	
ASGN1 SW:	OFF
ASGN2 SW:	OFF
ASGN3 SW:	OFF
ASGN4 SW:	OFF
ASGN5 SW:	OFF

CONTROL		[PATCH]
TAP/CTL:	TAP	
CTL1 FUNC:	OFF	
CTL2 FUNC:	OFF	
EXP FUNC:	OFF	
TAP/CTL PREF:	PATCH	

SYSTEM	
CONTRAST:	9
INSERT LOOP:	OFF
BANK MODE:	WRITE
BANK EXTENT MIN:	01
BANK EXTENT MAX:	99

MIDI	
Rx CHANNEL:	Ch. 1
Tx CHANNEL:	Rx
PC IN:	ON
PC OUT:	ON
BANK SEL. OUT:	MSB

MIDI PC MAP	
BNK-PC#	PATCH#
1:001	01A
1:002	01B
1:003	01C
1:004	02A

⋮

パッチを保存する

設定したパッチを保存することができます。

1. [EXIT] ボタンと [EDIT] ボタンを同時に押します。
2. [RATE/VALUE] つまみで、記憶先の番号を選びます。

バンク	[A] スイッチ	[B] スイッチ	[TAP/CTL] スイッチ
バンク 01	01A	01B	01C
バンク 02	02A	02B	02C
:	:	:	:
バンク 99	99A	99B	99C

```
WRITE
[EDIT]:EXECUTE
NAME:
PRIME CHORUS
WRITE TO
01A:PRIME CHORUS
```

※ パッチ C を選べるのは、FSW MODE (P.22) が「A/B/C」に設定されているときのみです。

3. [▲] ボタンを押して、パッチ名を選びます。
4. パッチ名を変更します。

[▲] [▼] ボタン	カーソルを移動
[RATE/VALUE] つまみ	文字を変更

```
WRITE
[EDIT]:EXECUTE
NAME:
PRIME CHORUS
WRITE TO
01A:PRIME CHORUS
```

5. [EDIT] ボタンを押して、パッチを保存します。
キャンセルするときは、[EXIT] ボタンを押します。

カーソルを「WRITE TO」に合わせて[RATE/VALUE]つまみを回すと、パッチを初期化(INIT)したり、パッチを入れ替えたり(EXCHANGE)することができます。

```
INITIALIZE
[EDIT]:EXECUTE
INIT
01A:PRIME CHORUS

EXCHANGE
[EDIT]:EXECUTE
01A:PRIME CHORUS
EXCHANGE
01A:PRIME CHORUS
```

パラメーター一覧

PATCH

モード共通のパラメーター

パラメーター	設定値	説明
MODE	エフェクトの種類を選びます (P.4)。[MODE] つまみと同様。	
EFFECT LEVEL (*1)	0 ~ 100	エフェクト音の音量を調節します。
DIRECT LEVEL	0 ~ 100	ダイレクト音の音量を調節します。
INIT PHASE (*2)	0 ~ 345deg	LFOの位相を調節します。
TEMPO HOLD (*3)	OFF, ON	パッチを切り替えたとき、テンポ (BPM) を変えるか維持するかを設定します。テンポを維持することによりRATEの設定を維持することができます。ただし、切り替えたパッチのNOTEの設定 (♪や♪など) が異なる場合は、RATEも変わります。
INSERT SW	インサート・ループ機能で、外部エフェクターと使うときの接続位置を設定します (P.24)。	
	OFF	インサート・ループ機能を使いません。
	PRE	パッチの前に接続します。
POST	パッチの後に接続します。	
OUTPUT GAIN	-6 ~ +6dB	出力レベルを調節します。

*1: MODEが「OVERTONE」のときを除く

*2: MODEが「DIMENSION」、[FILTER (T-WAH G / B, PATTERN FILTER)]、[SLICER]、「OVERTONE」のときを除く

*3: MODEが「DIMENSION」、[RING MOD]、[FILTER (T-WAH G / B)]、「OVERTONE」のときを除く

モードごとのパラメーター

CHORUS

パラメーター	設定値	説明
TYPE	コーラスの種類を選びます。	
	PRIME	MD-500 独自のコーラス・サウンドです。
	CE-1 CHORUS	CE-1 のコーラス・サウンドです。
	CE-1 VIBRATO	CE-1 のビブラート・サウンドです。
TRI-CHO	80年代に一世を風靡した3相コーラス、SONGBIRD TSC-1380Sをモデリングしています。	
PRIME		
RATE	0.01 ~ 20.00Hz	コーラスの周期を調節します。
BPM	6.0 ~ 600.0	テンポを設定します。 RATEやNOTEの値によって、設定範囲は異なります。
NOTE	♪ ~ 1oct	コーラスの周期を調節します。BPMに対する音符の長さで指定します。
DEPTH	0 ~ 100	コーラスの深さを調節します。
PRE-DELAY	0.0 ~ 40.0ms	ダイレクト音が出力されてから、エフェクト音が出力されるまでの時間を調節します。
WAVEFORM	1 ~ 10	コーラスの揺らぎ感を調節します。
SWEETNESS	0 ~ 100	値を大きくするほど、より包み込まれるようなサウンドになります。
BELL	0 ~ 100	値を大きくするほど、きらびやかなサウンドになります。
LOW LEVEL	-50 ~ +50	低音域の音質を調節します。
LOW FREQ	20.0 ~ 800Hz	LOW LEVELで調節する周波数を調節します。

パラメーター一覧

パラメーター	設定値	説明
HIGH LEVEL	-50 ~ +50	高音域の音質を調節します。
HIGH FREQ	630 ~ 16.0kHz	HIGH LEVEL で調節する周波数を調節します。
LOW CUT	FLAT、20 ~ 800Hz	設定された周波数より低い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ロー・カット・フィルターは動きません。
HIGH CUT	630Hz ~ 16.0kHz、FLAT	設定された周波数より高い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ハイ・カット・フィルターは動きません。
OUTPUT MODE	MONO、STEREO	モノ出力する (MONO) かステレオ出力する (STEREO) かを設定します。
CE-1 CHORUS、CE-1 VIBRATO		
RATE	0.01 ~ 20.00Hz	コーラスの周期を調節します。
BPM	6.0 ~ 600.0	テンポを設定します。 RATE や NOTE の値によって、設定範囲は異なります。
NOTE	 ~ 	コーラスの周期を調節します。BPM に対する音符の長さで指定します。
DEPTH	0 ~ 100	コーラスの深さを調節します。
LOW LEVEL	-50 ~ +50	低音域の音質を調節します。
LOW FREQ	20.0 ~ 800Hz	LOW LEVEL で調節する周波数を調節します。
HIGH LEVEL	-50 ~ +50	高音域の音質を調節します。
HIGH FREQ	630 ~ 16.0kHz	HIGH LEVEL で調節する周波数を調節します。
PREAMP SW	OFF、ON	CE-1 プリアンプをシミュレートする (ON) かしない (OFF) かを設定します。
PREAMP GAIN	1 ~ 100	プリアンプのゲインを調節します。値を大きくすると歪みます。
PREAMP LEVEL	0 ~ 100	プリアンプの音量を調節します。
OUTPUT MODE	コーラスの出力を設定します。	
	MONO	モノ出力します。
	STEREO	OUTPUT A/MONO 端子からダイレクト音、B 端子からはエフェクト音を出力します。
TRI-CHO		
RATE (*1)	0.01 ~ 20.00Hz	コーラスの周期を調節します。
BPM (*1)	6.0 ~ 600.0	テンポを設定します。 RATE や NOTE の値によって、設定範囲は異なります。
NOTE (*1)	 ~ 	コーラスの周期を調節します。BPM に対する音符の長さで指定します。
LFO MODE	LFO のモードを選びます。	
	PRESET	RATE が固定 (4.98Hz) になります。
	MANUAL	RATE でコーラスの周期を調節します。
	P+M	PRESET と MANUAL の LFO が合算されます。
INTENSITY1 (*2)	0 ~ 100	3 相コーラスの深さを調節します。
INTENSITY2 (*2)	0 ~ 100	
INTENSITY3 (*2)	0 ~ 100	
BRIGHT	OFF、ON	エフェクト音の高域をブーストする (ON) かしない (OFF) かを設定します。
LOW LEVEL	-50 ~ +50	低音域の音質を調節します。
LOW FREQ	20.0 ~ 800Hz	LOW LEVEL で調節する周波数を調節します。
HIGH LEVEL	-50 ~ +50	高音域の音質を調節します。
HIGH FREQ	630 ~ 16.0kHz	HIGH LEVEL で調節する周波数を調節します。
OUTPUT MODE	MONO、STEREO	モノ出力する (MONO) かステレオ出力する (STEREO) かを設定します。

*1: LFO MODE が「PRESET」のときは無効になります

*2: LFO MODE が「MANUAL」または「P+M」のときに表示されます

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

パラメーター一覧

FLANGER

パラメーター	設定値	説明
TYPE	PRIME G	ギター用
	PRIME B	ベース用
RATE	0.01 ~ 20.00Hz	うねりの速さを調節します。
BPM	6.0 ~ 600.0	テンポを設定します。 RATE や NOTE の値によって、設定範囲は異なります。
NOTE	♩ ~ $\frac{1}{16}$	うねりの速さを調節します。BPM に対する音符の長さで指定します。
DEPTH	0 ~ 100	うねりの深さを調節します。
RESONANCE	0 ~ 100	レゾナンス量（フィードバック量）を調節します。
MANUAL	0 ~ 100	効果をかける中心周波数を調節します。
TURBO	OFF、ON	「ON」に設定すると、より強烈な効果が得られます。
LOW DAMP	-100 ~ 0	低域のフィードバック量を調節します。
HIGH DAMP	-100 ~ 0	高域のフィードバック量を調節します。
LOW CUT	FLAT、20 ~ 800Hz	設定された周波数より低い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ロー・カット・フィルターは働きません。
HIGH CUT	630Hz ~ 16.0kHz、FLAT	設定された周波数より高い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ハイ・カット・フィルターは働きません。
SEPARATION (*1)	0 ~ 180deg	広がり調節します。値を大きくするほど左右の広がりが増します。
STEP RATE	OFF、 \cdot 、 \cdot ~ ♩	回転を階段状に変化させるステップ機能の周期を調節します。値を大きくするほど変化が細かくなります。ステップ機能を使わないときは「OFF」にします。
WAVEFORM	1 ~ 10	ウェーブの種類を選びます。
INPUT SENS	0 ~ 100	入力に応じてスイープする幅が変わります。値を大きくするほど幅が広がります。
POLARITY	UP、DOWN	INPUT SENS を上げたときに、スイープが上に広がる（UP）か下に広がる（DOWN）かを設定します。
OUTPUT MODE	MONO、STEREO	モノ出力する（MONO）かステレオ出力する（STEREO）かを設定します。

*1: OUTPUT MODE が「MONO」のときは無効になります

PHASER

パラメーター	設定値	説明
TYPE	PRIME G	ギター用
	PRIME B	ベース用
	SCRIPT	70年代に生産された MXR Phase 90 をモデリングしています。
PRIME G、PRIME B		
RATE	0.01 ~ 20.00Hz	回転の速さを調節します。
BPM	6.0 ~ 600.0	テンポを設定します。 RATE や NOTE の値によって、設定範囲は異なります。
NOTE	♩ ~ $\frac{1}{16}$	回転の速さを調節します。BPM に対する音符の長さで指定します。
DEPTH	0 ~ 100	回転効果の深さを調節します。
RESONANCE	0 ~ 100	レゾナンス量（フィードバック量）を調節します。
MANUAL	0 ~ 100	回転効果のかかる中心周波数を調節します。
LOW DAMP	-100 ~ 0	低域のフィードバック量を調節します。
HIGH DAMP	-100 ~ 0	高域のフィードバック量を調節します。
LOW CUT	FLAT、20 ~ 800Hz	設定された周波数より低い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ロー・カット・フィルターは働きません。

パラメーター一覧

パラメーター	設定値	説明
HIGH CUT	630Hz ~ 16.0kHz、 FLAT	設定された周波数より高い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ハイ・カット・フィルターは働きません。
SEPARATION	0 ~ 180deg	広がり調節します。値を大きくするほど左右の広がりが増します。
WAVEFORM	1 ~ 10	ウェーブの種類を選びます。
INPUT SENS	0 ~ 100	入力に応じてスイープする幅が変わります。値を大きくするほど幅が広がります。
POLARITY	UP、DOWN	INPUT SENS を上げたときに、スイープが上に広がる (UP) か下に広がる (DOWN) かを設定します。
STAGE	2、4、8、16、24	フェイザーの構成を選びます。
STEP RATE	OFF、♪ ~ 🎵	回転を階段状に変化させるステップ機能の周期を調節します。値を大きくするほど変化が細かくなります。ステップ機能を使わないときは「OFF」にします。
Bi-PHASE	OFF、ON	フェイズ・シフト回路を 2 台直列に接続する (ON) かしない (OFF) かを設定します。
OUTPUT MODE	MONO、STEREO	モノ出力する (MONO) かステレオ出力する (STEREO) かを設定します。
SCRIPT		
RATE	0.01 ~ 20.00Hz	回転の速さを調節します。
BPM	6.0 ~ 600.0	テンポを設定します。 RATE や NOTE の値によって、設定範囲は異なります。
NOTE	♪ ~ 🎵	回転の速さを調節します。BPM に対する音符の長さで指定します。
DEPTH	0 ~ 100	回転効果の深さを調節します。

CLASSIC-VIBE

パラメーター	設定値	説明
TYPE	出力の種類を選びます。	
	CHORUS	ダイレクト音とエフェクト音をミックスして出力します。
	VIBRATO	エフェクト音のみを出力します。
RATE	0.01 ~ 20.00Hz	エフェクトのかかる周期を調節します。
BPM	6.0 ~ 600.0	テンポを設定します。 RATE や NOTE の値によって、設定範囲は異なります。
NOTE	♪ ~ 🎵	エフェクトのかかる周期を調節します。BPM に対する音符の長さで指定します。
DEPTH	0 ~ 100	エフェクトのかかりの深さを調節します。

VIBRATO

パラメーター	設定値	説明
TYPE	ビブラートの種類を選びます。	
	PRIME	MD-500 独自のビブラートです。さまざまな設定ができます。
	SCANNER	トーンホイール・オルガンのスキャナー・ビブラートをシミュレートしています。
PRIME		
RATE	0.01 ~ 20.00Hz	ビブラートの周期を調節します。
BPM	6.0 ~ 600.0	テンポを設定します。 RATE や NOTE の値によって、設定範囲は異なります。
NOTE	♪ ~ 🎵	ビブラートの周期を調節します。BPM に対する音符の長さで指定します。
DEPTH	0 ~ 100	ビブラートのかかりの深さを調節します。
COLOR	0 ~ 100	値を大きくするほど複雑な揺れが得られます。
TRIGGER	OFF、ON	ビブラートのオン/オフを切り替えます。
RISE TIME	0 ~ 100	トリガーをオンにしてから設定したビブラート効果が得られるまでの時間を調節します。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

パラメーター一覧

パラメーター	設定値	説明
ENVELOPE SENS	0 ~ 100	入力に合わせて、ビブラートの深さが最大になるまでの時間を調節します。
WAVEFORM	1 ~ 10	ウェーブの種類を選びます。
INPUT SENS	0 ~ 100	入力に応じてビブラートの深さが変わります。「0」に設定すると入力にかかわらず一定の深さのビブラートがかかります。値を大きくすると、入力が大きいほどビブラートがかかりにくくなります。
SCANNER		
SCAN SPEED	0.01 ~ 20.00Hz	ビブラートの速さを調節します。
BPM	6.0 ~ 600.0	テンポを設定します。 SCAN SPEED や NOTE の値によって、設定範囲は異なります。
NOTE	♪ ~ 	ビブラートの周期を調節します。BPM に対する音符の長さで指定します。
MODE	SCANNER のモードを選びます。	
	V1 ~ V3	ビブラートをかけます。値を大きくするほど効果が深くなります。
	C1 ~ C3	コーラスをかけます。値を大きくするほど効果が深くなります。 ダイレクト音にエフェクト音をミックスするため、音に厚みをつけることができます。

TREMOLO

パラメーター	設定値	説明
TYPE	トレモロの種類を選びます。	
	PRIME T	MD-500 独自のトレモロです。さまざまな設定ができます。
	PRIME P	左右の音量を交互に変えることにより、ステレオで鳴らしたときに音が左右のスピーカーの間を飛び交うような効果が得られます (パン)。 ※ ステレオ出力しないと、思うような効果は得られません。
	TWIN	Fender Twin Reverb のトレモロをモデリングしています。
	DELUXE	Fender Deluxe Reverb のトレモロをモデリングしています。
PRIME T、PRIME P		
RATE	0.01 ~ 20.00Hz	トレモロの周期を調節します。
BPM	6.0 ~ 600.0	テンポを設定します。 RATE や NOTE の値によって、設定範囲は異なります。
NOTE	♪ ~ 	トレモロの周期を調節します。BPM に対する音符の長さで指定します。
DEPTH	0 ~ 100	トレモロの深さを調節します。
TRIGGER	OFF、ON	トレモロのオン/オフを切り替えます。
RISE TIME	0 ~ 100	トリガーをオンにしてから設定したトレモロ効果が得られるまでの時間を調節します。
ENVELOPE SENS	0 ~ 100	入力に合わせて、トレモロの深さが最大になるまでの時間を調節します。
WAVEFORM	1 ~ 100	ウェーブの種類を選びます。
INPUT SENS	0 ~ 100	入力に応じてトレモロの深さが変わります。「0」に設定すると入力にかかわらず一定の深さのトレモロがかかります。値を大きくすると、入力が大きいほどトレモロがかかりにくくなります。
TWIN、DELUXE		
SPEED	0.01 ~ 20.00Hz	トレモロの周期を調節します。
BPM	6.0 ~ 600.0	テンポを設定します。 SPEED や NOTE の値によって、設定範囲は異なります。
NOTE	♪ ~ 	トレモロの周期を調節します。BPM に対する音符の長さで指定します。
INTENSITY	0 ~ 100	トレモロの深さを調節します。

DIMENSION

パラメーター	設定値	説明
DIMENSION MODE	Roland DIMENSION D (SDD-320) のモードを選びます。	
	1 ~ 4、USER	Roland DIMENSION D (SDD-320) の各モード・スイッチをモデリングしています。「USER」に設定すると、各モード・スイッチを自在に組み合わせることができます。
MODE 1 ~ 4 SW	OFF、ON	各モード・スイッチをオン/オフします。各スイッチを同時にオンすることができます。
MODE 5 SW	OFF、ON	SDD-320 にはない、MD-500 独自のモードです。
OUTPUT MODE	MONO、STEREO	モノ出力する (MONO) かステレオ出力する (STEREO) かを設定します。

RING MOD

パラメーター	設定値	説明
FREQUENCY	82.4 ~ 3136.0Hz	内部発振器の発振周波数を調節します。
FREQUENCY MOD RATE	0.01 ~ 20.00Hz	内部発振器を揺らす速さを調節します。
FREQUENCY MOD DEPTH	0 ~ 100	内部発振器を揺らす深さを調節します。
INTELLIGENT	OFF、GUITAR、BASS	入力音のピッチ (音の高さ) に合わせて発振周波数が変化し、通常とは違った音程感のある音が得られます。「GUITAR」はギター用、「BASS」はベース用です。 ※ このエフェクトでは、ギター音のピッチが正しく検出されないと、思うような効果が得られません。単音で使うことをおすすめします。

ROTARY

パラメーター	設定値	説明
SPEED SELECT	SLOW、FAST	スピーカークの回転スピードの SLOW (スロー) / FAST (ファスト) を切り替えます。
SLOW RATE	0.01 ~ 20.00Hz	SPEED SELECT が SLOW 時の、回転スピードを調節します。
FAST RATE	0.01 ~ 20.00Hz	SPEED SELECT が FAST 時の、回転スピードを調節します。
RISE TIME	1 ~ 100	SPEED SELECT を SLOW から FAST に切り替えたときの、回転スピードの変化時間を調節します。
FALL TIME	1 ~ 100	SPEED SELECT を FAST から SLOW に切り替えたときの、回転スピードの変化時間を調節します。
MIC DISTANCE	0 ~ 100	ホーン/ローターとマイクの距離を調節します。
ROTOR/HORN	100:0 ~ 0:100	ホーンとローターの音量バランスを調節します。
DRIVE	0 ~ 100	プリアンプの歪み具合を調節します。

FILTER

パラメーター	設定値	説明
TYPE	ワウ効果やフィルターの種類を選びます。	
	A-WAH G	フィルターを周期的に変化させて、自動的にワウ効果を得ることができます (ギター用)。
	A-WAH B	フィルターを周期的に変化させて、自動的にワウ効果を得ることができます (ベース用)。
	T-WAH G	入力信号の音量に応じてフィルターを変化させて、ワウ効果を得ることができます (ギター用)。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

パラメーター一覧

パラメーター	設定値	説明
TYPE	T-WAH B	入力信号の音量に応じてフィルターを変化させて、ワウ効果を得ることができます (ベース用)。
	PATTERN	フィルターの変化を自由にプログラムすることができます。
A-WAH G、A-WAH B		
RATE	0.01 ~ 20.00Hz	ワウの周期を調節します。
BPM	6.0 ~ 600.0	テンポを設定します。 RATE や NOTE の値によって、設定範囲は異なります。
NOTE	♪ ~ <small>16th</small>	ワウの周期を調節します。BPM に対する音符の長さで指定します。
FILTER MODE	ワウのモードを選びます。	
	LPF	ロー・パス・フィルター。低い音域だけを通します。
	HPF	ハイ・パス・フィルター。高い音域だけを通します。
	BPF	バンド・パス・フィルター。特定の音域だけを通します。
DEPTH	0 ~ 100	ワウの深さを調節します。
FREQUENCY	0 ~ 100	ワウ効果の基準周波数を調節します。
RESONANCE	0 ~ 100	基準周波数付近のワウ効果のかかり具合を調節します。 値を大きくするほど、フィルター効果の強調されたクセの強い音色になります。値を「50」にすると、標準的なワウ・サウンドが得られます。
WAVEFORM	SIN、TRI、SQR、SAW-UP、SAW-DOWN、RAMP	ウェーブの種類を選びます。
T-WAH G、T-WAH B		
FILTER MODE	ワウのモードを選びます。	
	LPF	ロー・パス・フィルター。低い音域だけを通します。
	HPF	ハイ・パス・フィルター。高い音域だけを通します。
	BPF	バンド・パス・フィルター。特定の音域だけを通します。
POLARITY	入力に応じてフィルターが変化する方向を選びます。	
	DOWN	フィルターが低い周波数方向に動きます。
	UP	フィルターが高い周波数方向に動きます。
SENS	0 ~ 100	POLARITY の設定によってフィルターが変化するときの感度を設定します。値を大きくするほど反応が強くなり、「0」にするとピッキングによるワウ効果はなくなります。
FREQUENCY	0 ~ 100	ワウ効果の基準周波数を調節します。
RESONANCE	0 ~ 100	基準周波数付近のワウ効果のかかり具合を調節します。
DECAY	0 ~ 100	フィルターの動く周期を調節します。
PATTERN FILTER		
RATE	0.01 ~ 20.00Hz	フィルターの周期を調節します。
BPM	6.0 ~ 600.0	テンポを設定します。 RATE や NOTE の値によって、設定範囲は異なります。
NOTE	♪ ~ <small>16th</small>	フィルターの周期を調節します。BPM に対する音符の長さで指定します。
PATTERN	PAT1 ~ PAT10、USER	パターンを選びます。 PAT1 ~ 10: プリセットのパターンを選びます。 USER: 自由にパターンを作ることができます。
STEP NUMBER	8、12、16、24	分割して鳴らすステップ数を選びます。
FILTER MODE	フィルターのモードを選びます。	
	LPF	ロー・パス・フィルター。低い音域だけを通します。
	HPF	ハイ・パス・フィルター。高い音域だけを通します。
	BPF	バンド・パス・フィルター。特定の音域だけを通します。
RESONANCE	0 ~ 100	レゾナンスを調節します。
TRANSITION	0 ~ 100	各ステップの切り替わる時間 (滑らかさ) を調節します。

パラメーター	設定値	説明
STEP1 ~ STEP24 FREQ (*1)	0 ~ 100	各ステップの周波数を調節します。

*1: PATTERN が「USER」のときに表示されます

SLICER

パラメーター	設定値	説明
RATE	0.01 ~ 20.00Hz	音を刻む周期を調節します。
BPM	6.0 ~ 600.0	テンポを設定します。 RATE や NOTE の値によって、設定範囲は異なります。
NOTE	♪ ~ 	音を刻むスライス・パターンを選びます。
PATTERN	P1 ~ 30、H1 ~ H20、USER	P1 ~ 30、H1 ~ H20: プリセットのパターンを選びます。 USER: 自由にパターンを作ることができます。
FX TYPE (*1)	エフェクトの種類を選びます。	
	OFF	エフェクトなし
	PITCH	ピッチ変化
	FLANGER	フランジャー
	PHASER	フェイザー
	SWEEP	スイープ・フィルター
	FILTER	フィルター
	RING	リング・モジュレーター
STEP NUMBER (*1)	8、12、16、24	何ステップのパターンとして再生するか選びます。 たとえば、「8」に設定すると、1 小節を均等に 8 分割して再生します。
STEP1 ~ STEP24 LENGTH (*1)	0 ~ 100	各ステップの長さを調節します。 0: 音は鳴りません。 1 ~ 99: 長さに応じて音が鳴ります。 100: 次のステップとつながります。
STEP1 ~ STEP24 LEVEL (*1)	0 ~ 100	各ステップの音量を調節します。
STEP1 ~ STEP24 BAND (*1)	THRU、BAND1 ~ BAND6	各ステップの周波数の帯域制限を設定します。 THRU: 帯域の制限はありません。 BAND1 ~ BAND6: 値が小さいほど高い帯域を通します。
STEP1 ~ STEP24 EFFECT (*1)	0 ~ 100	各ステップのエフェクト音の音量を調節します。 FX TYPE を「PITCH」に設定すると、ピッチの調節をします (-12 ~ +12)。
ATTACK	0 ~ 100	スライス・パターンのアタックの音量を調節します。
DUTY (*2)	1 ~ 99	スライス・パターンの音の長さを調節します。
OUTPUT MODE	MONO、FIXED、RANDOM、PngPong、AUTO	出力のしかたを選びます。

*1: PATTERN が「USER」のときに表示されます

*2: PATTERN が「USER」のときは無効です

OVERTONE

パラメーター	設定値	説明
TYPE	オーバートーンの種類を選びます。	
	OVERTONE	倍音を付加して音に厚みを加えます。
	DETUNE	わずかにピッチのずれた音を付加して音に厚みを加えます。

パラメーター一覧

パラメーター	設定値	説明
OVERTONE		
LOWER LEVEL	0 ~ 100	オクターブ下の、倍音の音量を調節します。
UPPER LEVEL	0 ~ 100	オクターブ上の、倍音の音量を調節します。
UNISON LEVEL	0 ~ 100	ダイレクト音からわずかにピッチをずらした音を加える音量を調節します。
DETUNE	0 ~ 100	エフェクト音全体を揺らす深さを調節します。
LOW	-50 ~ +50	低音域の音質を調節します。
HIGH	-50 ~ +50	高音域の音質を調節します。
DETUNE		
PITCH 1	-50 ~ +50	ピッチを調節します (1cent 単位)。
PITCH 2		
EFFECT LEVEL 1	0 ~ 100	エフェクト音の音量を調節します。
EFFECT LEVEL 2		

CONTROL

[TAP/CTL] スイッチ、CTL 1, 2/EXP 端子に接続した、フットスイッチやエクスプレッション・ペダルの機能を設定します。

- 「[TAP/CTL] スイッチでエフェクトのかけかたを変える」(P.7)
- 「外部ペダルに機能を割り当てる」(P.25)

ASSIGN

ASSIGN INPUT SENS

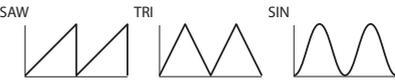
パラメーター	設定値	説明
ASGN INPUT SENS	0 ~ 100	SRC を「INPUT」に設定したときの入力感度を調節します。

ASSIGN 1 ~ 8

パラメーター	設定値	説明
SW	OFF、ON	ASSIGN1 ~ 8 のオン/オフを設定します。
SRC (SOURCE)	コントローラー (ソース)	を設定します。
	TAP/CTL	[TAP/CTL] スイッチ
	EXP PDL (EXP PEDAL)	CTL 1, 2/EXP 端子に接続した外部のエクスプレッション・ペダル (別売: EV-30、EV-5 など)
	CTL1、2 PDL	CTL 1, 2/EXP 端子に接続した外部のフットスイッチ
	INT PDL	インターナル・ペダル 設定したトリガー (TRIGGER) をきっかけに、仮想エクスプレッション・ペダルが動作を開始し、 「TARGET」で設定したパラメーターを変化させます。 インターナル・ペダルで設定できるパラメーターの詳細については、「TIME」、「CURVE」をご覧ください (P.20)。



パラメーター一覧

パラメーター	設定値	説明
SRC (SOURCE)	WAVE PDL	ウェーブ・ペダル 「TARGET」で設定したパラメーターを、仮想エクスプレッション・ペダルによって一定の周期で変化させます。 
	INPUT (INPUT LEVEL)	入力されるレベルに応じて、ターゲットに設定されたパラメーターを変化させます。 ※ 入力感度を調整したいときは、SENS (INPUT SENS) を設定します。
	CC#1 ~ 31、 CC#64 ~ 95	外部 MIDI 機器からのコントローラー・ナンバー
MODE (SOURCE MODE)	コントローラーの動作を設定します。	
	MOMENT	通常はオフ（最小値）になり、操作している間だけオン（最大値）になります。 ※ インターナル・ペダルまたはウェーブ・ペダルを使用する場合は、「MOMENT」に設定してください。
	TOGGLE	操作をするたびに、オフ（最小値）／オン（最大値）が切り替わります。
TRG (TARGET)	変化させるパラメーターを選びます。	
MIN (TARGET MIN)	パラメーターの可変範囲を設定します。設定値は、TARGET で割り当てられたパラメーターによって変化します。	
MAX (TARGET MAX)		
ACT LOW	0 ~ 126	ソースの操作範囲の中でターゲット・パラメーターをコントロールする範囲を設定します。
ACT HIGH	1 ~ 127	設定した範囲内でターゲット・パラメーターをコントロールします。通常は ACT LOW を「0」に、ACT HIGH を「127」にしてください。
WAVE RATE (*1)	0 ~ 100、 	ウェーブ・ペダルの 1 周期の時間を調節します。
	※ テンポによって設定される時間が設定可能な範囲より長い場合は、その時間の 1/2 または 1/4 の時間に同期するようになります。	
WAVE FORM (*1)	SAW、TRI、SIN	ウェーブ・ペダルの変化のしかたを、次の中から設定します。 
TRIGGER (INT PEDAL TRIGGER) (*2)	インターナル・ペダルが動作を開始するきっかけを設定します。	
	PAT CNG (PATCH CHANGE)	パッチを切り替えたときに動作します。
	EXP LOW	CTL 1, 2/EXP 端子に接続した外部のエクスプレッション・ペダルを最小にしたときに動作します。
	EXP MID	CTL 1, 2/EXP 端子に接続した外部のエクスプレッション・ペダルを踏み込み、中間値を通過したときに動作します。
	EXP HIGH	CTL 1, 2/EXP 端子に接続した外部のエクスプレッション・ペダルを最大にしたときに動作します。
	CTL1, 2 PDL	CTL 1, 2/EXP 端子に接続した外部のフットスイッチを操作したときに動作します。
	CC#1 ~ #31 CC#64 ~ #95	コントロール・チェンジを受信したときに動作します。

English

日本語

Deutsch

Français

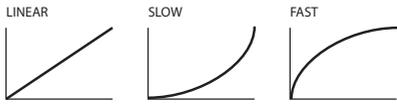
Italiano

Español

Português

Nederlands

パラメーター一覧

パラメーター	設定値	説明
TIME (INT PEDAL TIME) (*2)	0 ~ 100	インターナル・ペダルのつま先を上げた状態から踏み込んだ状態に移動する時間を調整します。
CURVE (INT PEDAL CURVE) (*2)	LINEAR, SLOW (SLOW RISE), FAST (FAST RISE)	インターナル・ペダルの変化のしかたを、次の中から設定します。 

*1: SRC=WAVE PDL のみ

*2: SRC=INT PDL のみ

BANK

サイマル・モード時の、パッチ A と B の接続や出力の方法を設定します。

- [2 つのパッチを同時に使う (サイマル・モード)] (P.22)

SYSTEM

パラメーター	設定値	説明
CONTRAST	1 ~ 16	画面のコントラストを調節します。
INSERT LOOP	OFF, ON	インサート・ループ機能 (P.24) を使う (ON) か/使わない (OFF) かを設定します。
BANK MODE	WAIT	バンクを切り替えたときのパッチの切り替えタイミングを設定します。 バンクを切り替えても、ディスプレイの表示が変化するだけでパッチは切り替わりません。[A] [B] スイッチを押した時点でバンクとナンバーが確定され、次のパッチに切り替わります。
	IMMEDIATE	バンクを切り替えた瞬間に次のパッチに切り替わります。
BANK EXTENT MIN	01 ~ 99	選択可能なバンクの下限値を設定します。
BANK EXTENT MAX	01 ~ 99	選択可能なバンクの上限値を設定します。
KNOB LOCK	OFF, ON	つまみの操作を無効にする (ON) か/しない (OFF) かを設定します。
KNOB MODE	IMMEDIATE, HOOK	つまみを動かしたときに、常にその位置のコントロール・データを出力するか (IMMEDIATE)、パラメーターの値を通過したときからコントロール・データを出力するか (HOOK) を設定します。
BYPASS	BUFFERED, TRUE	バイパス音の出力 (トゥルー・バイパス/バッファード・バイパス) を設定します。
PEDAL ACT	PUSH, RELEASE	[A] [B] [TAP/CTL] スイッチを押したときに動作する (PUSH) か、離したときに動作する (RELEASE) かを設定します。
FSW MODE	フットスイッチの使いかたを設定します (P.22)。	
USB MODE	USB の動作モードを設定します (P.27)。	

MIDI

パラメーター	設定値	説明
Rx CHANNEL	Ch.1 ~ 16, OFF	MIDI 受信チャンネルを設定します。 「OFF」に設定すると、MIDI メッセージを受信しません。
Tx CHANNEL	Ch.1 ~ 16, Rx, OFF	MIDI 送信チャンネルを設定します。 「OFF」に設定すると、MIDI メッセージを送信しません。

パラメーター一覧

パラメーター	設定値	説明
PC IN	OFF, ON	プログラム・チェンジを受信するかしないかを設定します。
PC OUT	OFF, ON	プログラム・チェンジを送信するかしないかを設定します。
BANK SEL OUT	MSB, M+L	プログラム・チェンジと同時に送信するバンクセレクト・メッセージを設定します。 MSB を選ぶと MSB (CC#0) だけが、M+L を選ぶと MSB と LSB (CC#32) が送信されます。
CC IN	OFF, ON	コントロール・チェンジを受信するかしないかを設定します。
CC OUT	OFF, ON	コントロール・チェンジを送信するかしないかを設定します。
RATE CC	OFF, CC#1 ~ 31, 64 ~ 95	[RATE/VALUE] つまみ
DEPTH CC		[DEPTH] つまみ
E.LEVEL CC		[E. LEVEL] つまみ
PARAM 1 CC		[PARAM 1] つまみ
PARAM 2 CC		[PARAM 2] つまみ
EFFECT SW EFFECT A SW EFFECT B SW		エフェクト・オン、パイパスを切り替えるコントローラー・ナンバーを設定します。
CTL1 CC		外部 CTL1 スイッチ
CTL2 CC	外部 CTL2 スイッチ	
EXP CC	外部 EXP ペダル	
SYNC	どの入力のテンポ・クロックに同期させるかを設定します。	
	INTERNAL	内蔵テンポに同期します。
	EXT (USB)	USB 端子からのテンポに同期します。
	EXT (MIDI)	MIDI IN 端子からのテンポに同期します。
	AUTO	通常は内蔵テンポで動作しますが、MIDI IN 端子または USB 端子から MIDI クロックが入力された場合、MIDI クロックにテンポ同期します (AUTO)。 MD-500 をスリーブにする場合は「AUTO」に設定します。
REALTIME SRC	MIDI OUT 端子や USB 端子に出力するリアルタイム・メッセージのソースを設定します。	
	INT	内蔵リアルタイム・メッセージをソースにします。
	USB	USB 端子からのリアルタイム・メッセージをソースにします。
	MIDI	MIDI IN 端子からのリアルタイム・メッセージをソースにします。
MIDI IN->OUT USB IN->OUT	MIDI IN 端子、USB 端子から入力した MIDI メッセージを、どの端子に出力するかを設定します。	
	OFF	MIDI メッセージを出力しません。
	USB	USB 端子に出力します。
	MIDI	MIDI OUT 端子に出力します。
	U+M	USB 端子と MIDI OUT 端子に出力します。
DEVICE ID	1 ~ 32	システム・エクスクルーシブ・メッセージを送受信するとき使用するデバイス ID を設定します。

メモ

MIDI の詳細については、『MIDI インプリメンテーション』(PDF) をご覧ください。
<http://jp.boss.info/manuals/>

MIDI PC MAP

パラメーター	設定値	説明
BNK-PC# 1:001 ~ 3:128	01A ~ 99C	パッチ番号に対応したプログラム・ナンバーを設定します。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

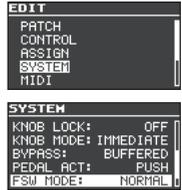
Português

Nederlands

便利な使いかた

[A]、[B]、[TAP/CTL] スイッチの機能を設定する

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで [SYSTEM] を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [▲] [▼] ボタンで [FSW MODE] を選び、[RATE/VALUE] つまみでモードを設定します。



モード	説明
NORMAL	[A]、[B]スイッチでパッチ A、パッチ B の切り替え、[TAP/CTL] スイッチでタップ入力ができます。
A/B/C	[TAP/CTL] スイッチでパッチ C を呼び出すことができます。 ※ このとき [TAP/CTL] スイッチで、エフェクトのかけかたを変えることは使えません。
A/B SIMUL	パッチ A と B を同時に使うことができます (P.22)。点灯していない [A] または [B] スイッチを押して、どちらも点灯させます。
SW DN/UP	[A] スイッチでエフェクトのオンとオフを切り替え、[B] スイッチと [TAP/CTL] スイッチでパッチを切り替えます。

4. [EXIT] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

2 つのパッチを同時に使う (サイマル・モード)

FSW MODE を [A/B SIMUL] に設定すると、2 つのパッチ A と B を同時に使うことができます (サイマル・モード)。

1. FSW MODE を [A/B SIMUL] に設定します。
2. 点灯していない [A] または [B] スイッチを押して、どちらも点灯させます。

2 つのパッチが同時に使えるようになります。

選ばれているパッチ



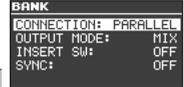
メモ

- 画面で選ばれているパッチ ([▼] [▲] ボタンで選択) が、エディット対象のパッチです。
- TAP/CTL (P.7) や外部フットスイッチの設定 (P.25) は、A と B 両方のパッチに有効です。
また、[TAP/CTL] スイッチの点灯/点滅表示は、画面で選ばれているパッチの設定に従います。

サイマル・モードの設定をする (BANK)

サイマル・モード時の、パッチ A と B の接続や出力の方法を設定します。

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「BANK」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、[RATE/VALUE] つまみで値を変えます。



パラメーター	設定値	説明
CONNECTION	SERIES	パッチ A と B を直列に接続します。A → B の順に接続します。
	PARALLEL	パッチ A と B を並列に接続します。
OUTPUT MODE (*1)	OUTPUT A/MONO、B	端子からの出力方法を設定します。
	MIX	パッチ A と B をミックスして出力します。
	A/B	INPUT A/MONO 端子に入力した音は、パッチ A を通して OUTPUT A/MONO 端子に出力します。INPUT B 端子に入力した音は、パッチ B を通して OUTPUT B 端子に出力します。
INSERT SW	OFF	インサート・ループ機能 (P.24) で、外部エフェクターをインサートするときの接続位置を設定します。
	PRE	接続しません。
	POST	パッチ A と B の前に接続します。
	MIDDLE (*2)	パッチ A と B の後に接続します。
SYNC (*3)	OFF、ON	パッチ A と B の間に接続します。
	OFF、ON	B のパッチのテンポが、A のパッチのテンポに同期する (ON) かしない (OFF) かを選びます。NOTE はパッチごとに調節できます。

*1 : CONNECTION が「PARALLEL」のときに表示されます

*2 : CONNECTION が「SERIES」のときに表示されます

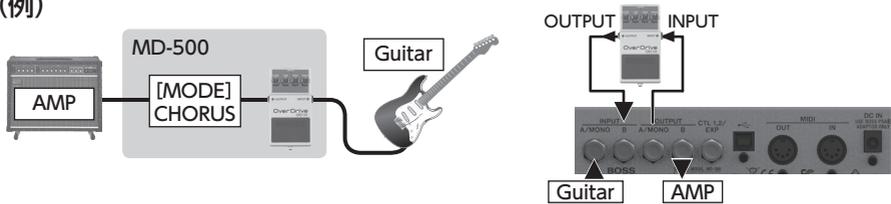
*3 : RATE と BPM が無いモードのときは無効になります

4. [EXIT] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

外部エフェクターを挿入する

OUTPUT A 端子と INPUT B 端子の間に外部エフェクターを接続して、MD-500 のエフェクトを組み合わせ使用することができます（インサート・ループ機能）。
また、エフェクトの接続順も設定することもできます。

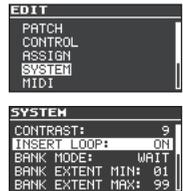
(例)



インサート・ループ機能を設定する

インサート・ループ機能をオンにする

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「SYSTEM」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [▲] [▼] ボタンで「INSERT LOOP」を選び、[RATE/VALUE] つまみで「ON」に設定します。
4. [EXIT] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。



外部エフェクターの接続位置を設定する

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「PATCH」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [▲] [▼] ボタンで「INSERT SW」を選び、[RATE/VALUE] つまみで値を変えます。



設定値	説明
PRE	MD-500 のエフェクトの前に接続します。
POST	MD-500 のエフェクトの後に接続します。

4. [EXIT] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

※ エディットしたパッチは、「パッチを保存する」(P.9) の手順で保存してください。

メモ

サイマル・モード時でも、インサート・ループ機能を使うことができます (P.23)。

外部ペダルに機能を割り当てる

CTL 1, 2/EXP 端子に接続した、フットスイッチ（別売：FS-5U、FS-5L、FS-6、FS-7）やエクスプレッション・ペダル（別売：EV-30、Roland EV-5 など）に機能を割り当てることができます。

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「CONTROL」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、[RATE/VALUE] つまみで値を変えます。



パラメーター	設定値	説明
CTL 1/2 FUNC		CTL 1, 2/EXP 端子に接続したフットスイッチの機能を設定します。
EXP FUNC		CTL 1, 2/EXP 端子に接続したエクスプレッション・ペダルの機能を設定します。
TRG MIN		エクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターの、可変範囲の下限値 (MIN) と上限値 (MAX) を設定します。設定値は、EXP FUNC で割り当てられたパラメーターによって変化します。
CTL 1/2 PREF	PATCH	パッチごとに異なった設定にできます。
EXP PREF	SYSTEM	すべてのパッチで同じ設定を共有できます。

CTL1 FUNC、CTL2 FUNC の設定値

設定値	説明
OFF	割り当てをしません。
TAP	タップ入力ができます。
RESET	ペダルを踏むと、LFO の位相を INIT PHASE (P.10) の値に戻します。
MOMENT	押している間だけエフェクト音を出力します。
BANK UP	バンクを変えます。
BANK DOWN	

EXP FUNC の設定値

設定値	説明
OFF	割り当てをしません。ASSIGN 1-8 の設定を使うときに選びます (P.18)。
RATE	エフェクト音を揺らす速さを調節します。
DEPTH	エフェクト音を揺らす深さを調節します。
E.LEVEL	エフェクト音の音量を調節します。
PARAM1/2	[PARAM 1] つまみと [PARAM 2] つまみに割り当てられたパラメーターを調節します。

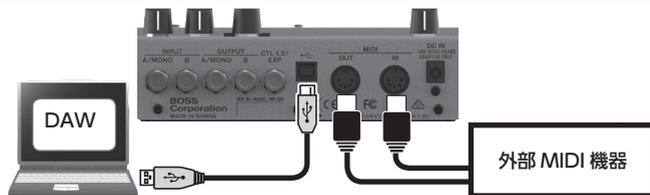
4. [EXIT] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

DAW や外部 MIDI 機器と同期する

MIDI 信号を送受信することで、パソコンや外部 MIDI 機器と同期演奏することができます。

たとえば、外部 MIDI 機器や DAW から MD-500 のパッチを切り替えたり、テンポを合わせたりすることができます。

接続例



送受信できる MIDI メッセージ

パッチ切り替え

バンク・セレクト (CC#0、#32) とプログラム・チェンジ



ON である
こと

同期情報

テンポ・クロック (F8)

パッチ情報

システム・エクスクルーシブ・メッセージ

その他のメッセージ

スイッチ、つまみ	MIDI メッセージ	値	補足
[RATE/VALUE] つまみ	コントローラー・ナンバー 17	0 ~ 127	-
[DEPTH] つまみ	コントローラー・ナンバー 18		
[E. LEVEL] つまみ	コントローラー・ナンバー 19		
[PARAM 1] つまみ	コントローラー・ナンバー 20		
[PARAM 2] つまみ	コントローラー・ナンバー 21		
CTL 1 スイッチ	コントローラー・ナンバー 80	0, 127	押したとき「127」、離したとき「0」を送信
CTL 2 スイッチ	コントローラー・ナンバー 81		
EXP ペダル	コントローラー・ナンバー 16	0 ~ 127	-
エフェクト・オン、バイパス	コントローラー・ナンバー 27	ON, OFF	ON = エフェクト・オン、OFF = バイパス サイマル・モード時は、選ばれているパッチに ON / OFF が設定されます。
エフェクト A・オン、バイパス	コントローラー・ナンバー 28	ON, OFF	ON = パッチ A のエフェクト・オン、OFF = バイパス
エフェクト B・オン、バイパス	コントローラー・ナンバー 29	ON, OFF	ON = パッチ B のエフェクト・オン、OFF = バイパス

MIDI の流れ

MIDI パラメーターの設定方法は「[EDIT] の基本操作」(P.8) をご覧ください。

主な設定項目

設定する項目	パラメーター	説明
同期元の選択	SYNC	同期元を MD-500 (INTERNAL) にするか、USB または MIDI で接続している外部機器にするかを設定します。
リアルタイム・メッセージの選択	REALTIME SRC	MD-500 が生成したリアルタイム・メッセージを出力するか、MIDI IN 端子または USB 端子から入力したリアルタイム・メッセージを出力するかを設定します。
MIDI メッセージの出力先	MIDI IN->OUT	MIDI OUT 端子に出力される MIDI メッセージを設定します。
	USB IN->OUT	USB 端子に出力される MIDI メッセージを設定します。

```

MIDI
EFFECT B SW: CC#29
CTL1 CC: CC#98
CTL2 CC: CC#81
EXP CC: CC#16
SYNC: INTERNAL

```

```

MIDI
EXP CC: CC#16
SYNC: INTERNAL
REALTIME_SRC: INT
MIDI IN->OUT: MIDI
USB IN->OUT: OFF

```

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

DAW とうまく接続できないとき

通常はパソコンにドライバーをインストールする必要はありませんが、何かしらの不具合が発生した場合、もしくはパフォーマンスが悪い場合にうまく接続できないときがあります。

このような場合には、「USB MODE」を [VENDOR] にしたあと、パソコンにオリジナルのドライバーをインストールします。

オリジナルのドライバーのダウンロードとインストール手順について詳しくは、BOSS のホームページをご覧ください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

➔ <https://www.boss.info/jp/support/>

ドライバーは、ご使用の環境によってインストールするプログラムや手順が異なりますので、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をよく読んでうさでお使いください。

```

SYSTEM
KNOB MODE: IMMEDIATE
BYPASS: BUFFERED
PEDAL ACT: PUSH
FSM MODE: NORMAL
USB MODE: VENDOR

```

工場出荷時の設定に戻す

工場出荷時の設定に戻すことができます。システム設定や、一部のパッチやバンクだけ戻すこともできます。

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「FACTORY RESET」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [FROM] と [TO] で、初期化する範囲を決めます。

パラメーター	設定値	説明
FROM TO	SYSTEM	システム・パラメーターの設定
	01A ~ 99C	パッチの設定
	BANK01 ~ 99	バンクの設定 (パッチ A ~ C、BANK パラメーター)



4. [EDIT] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
5. 初期化するときには [EDIT] ボタンを押します。
キャンセルするときには、[EXIT] ボタンを押します。

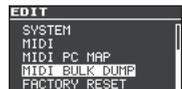


外部 MIDI 機器にデータを送信する

エクスクルーシブ情報を使って他の MD-500 を同じ設定にしたり、パソコンのシーケンサー・ソフトや DAW ソフトなどにエフェクトの設定内容を保存しておいたりすることができます。データを送信することを「バルク・ダンプ」といいます。

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「MIDI BULK DUMP」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [FROM] と [TO] で、初期化する範囲を決めます。

パラメーター	設定値	説明
FROM TO	SYSTEM	システム・パラメーターの設定
	01A ~ 99C	パッチの設定
	BANK01 ~ 99	バンクの設定 (パッチ A ~ C、BANK パラメーター)
	TEMP	現在のパネル上のエフェクト設定



4. [EDIT] ボタンを押します。
バルク・ダンプが実行されます。

トラブルシューティング

トラブル	確認事項	対処
電源が入らない	INPUT A/MONO 端子にギターが正しく接続されていますか?	接続をもう一度確認してください。
	電池が消耗していませんか?	新しい電池と交換してください。
	指定の AC アダプター PSA-100S が正しく接続されていますか?	接続をもう一度確認してください。
音が出ない	インサート・ループ機能が設定されていませんか?	インサート・ループ機能をオンしている場合、外部エフェクターを正しく接続かつ電源が入っていないと、音は出ません (P.24)。
フットスイッチで音色が思ったように切り替わらない	SYSTEM: FSW MODE (P.22) が正しく設定されていますか?	FSW MODE (P.22) により [A] [B] [TAP/CTL] スイッチを踏んだときの動作が変わります。設定をご確認ください。

主な仕様

BOSS MD-500 : モジュールション

電源	アルカリ電池 (単 3 形) × 4 AC アダプター
消費電流	225mA
連続使用時の電池の寿命	アルカリ電池: 約 4.5 時間 ※ 使用状態によって異なります。
外形寸法	170 (幅) × 138 (奥行) × 62 (高さ) mm
質量 (電池を含む)	1.0kg
付属品	取扱説明書、「安全上のご注意」チラシ、アルカリ電池 (単 3 形) × 4、保証書、ローランド ユーザー登録カード
別売品	AC アダプター: PSA-100S フットスイッチ: FS-5U、FS-5L デュアル・フットスイッチ: FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル: FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

安全上のご注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。

- ・ 付属品
- ・ ゴム足 (P.2)



使用上のご注意

電池について

- ・ 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。
- ・ 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。

修理について

- ・ 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

その他の注意について

- ・ 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- ・ 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・ ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。
- ・ 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- ・ 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- ・ Roland、BOSS、SLICER は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- ・ 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。
- ・ 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。本書では COSM によってシミュレートされたサウンドを適切に表現するために、これらの名称を使用しています。